

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再エネ地産地消の社会実装に向けた調査・研究事業	
補助事業者名	安来市	
補助事業の概要	<p>「化石由来のエネルギーを市外から調達する」構造から「再生可能エネルギーを地産地消する」構造に転換する。それにより、地域経済の好循環と経済的社会的レジリエンスのあるエネルギー需給構造の構築を図る。</p> <p>令和 4 年度に策定した安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンに基づき、社会実装の第一歩を踏み出すことと、効果を最大化させるための調査及び研究を実施する。発電分野の F/S 調査、熱利用分野の実証事業、理解促進のための調査等を行う。</p>	
総事業費	18,964,000 円	
補助金充当額	18,964,000 円	
定量的目標	<p>A) 公共施設、遊休市有地における太陽光発電検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流センター10 箇所で、太陽光発電 F/S 調査および内 3 箇所で蓄電池併設の検討。 ・遊休市有地 2 箇所で、民間太陽光発電の事業スキーム検討。 <p>B) 地域マイクロ水力発電の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市に活かせる先進事例の発掘。 ・市内の候補地発掘。 <p>C) 木質バイオマス熱利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流センター 2 箇所で、竹ボイラー設置可能性の検討。 ・熱利用の実証事業実施、社会実装のスキーム検討。 <p>D) 再エネの理解促進のための再エネビジョン普及ツールの開発に向けた調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校視察、アンケート調査等により相応しいツールの検討。 	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・上記 A～D について実施した。 ・令和 4 年度に策定した安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンに基づき、社会実装の第一歩を踏み出すことができた。 ・特に、B にて視察した先進地においては、発電ワークショップにより住民の理解促進を図り、仲間を増やした手法を学んだ。地域マイクロ水力発電に限らず、今後市内で再エネ地産地消を進めていくうえでの参考となった。 	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約（間接補助）の目的	上記 A～D の実施
	契約の方法	一般競争入札（公募型プロポーザル方式）

(※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約の相手方（間接補助先）	株式会社エブリプラン
	契約金額（間接補助金額）	18,964,000 円
来年度以降の事業見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ Aにおいて調査未実施の交流センター等 10 箇所程度で、太陽光発電 F/S 調査を実施する。その際、より産業振興に資する枠組みを検討する。 ・ Bで見出した市内候補地において、発電ワークショップ等の勉強会を開催する。 ・ Cにおいて木質バイオマス熱利用のポテンシャルが窺えたため、バイオ炭をメインに、燃料製造の実現可能性を検討する。 ・ Dの検討により相応しいと思われた普及ツールを開発するとともに、理解促進イベントを実施する。 	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。